

34 |

送られた書信であるが、驚く勿れ、お市で去る
一月廿四日乃至廿七日に投函されたものはかりだ。
此等は、ソコウ収容所の検閲官が手摺りしたも
のが其れとも故意に保留にぬれたのか、何れに
も不注意或は怠つて居る事は想像できる。中にも
佐藤元気の書面には、ユース社外分限開する
照会からつたのは実ル突然たる事を惜しむ。

若し却時該書信を受取つてぬらば、尤も
社に開する善後策は、もっと徹底的にやりやうか
でせうが、今と成つては後の祭りだ。

最初おキャンプからの郵書は一週一回と
の指令につか。今日は郵書二通、華書一通と
改善され、昨文は一度幕府中央政府に
転送検閲、後ち或失へ配達せんとつ公表
に。だが流れた軍命にけれ外部からの手紙
検閲は迅速であつて、ソコウ、如き手向は取
らんから早く一回の手許に配達され、之ればかり
は非常を満足を買つて居る。

April 29 (1)

今日は天長の佳節である。戦時に天涯萬里の
敵國地内に銃剣監禁のトに幾日の同胞が
この佳節とやふとは、凡そ悲痛事であると共に
意義深きものがある。早稲構内の一角に若か代
の祈唱と萬歳の声の晴空にすかすかに鳴り

342

渡りのかへた、パナマ一隊の奉祝だ。腹で半時向も
経つと、又一方に万歳三唱が早天に並列と轟く、
ハワイ團の其れらしい。朝食後、各等の一隊は奇が
又城食堂に集り、加州の向田右司会の下心ばかり
の万歳と新曲の三唱、心ばかりの祝意を表した。
次で更にせえばかりの人々は、テント外車方に向つて整
列し、えが代と萬歳三唱と奉唱したのは、決むまじき
光景である。

午の暑ねのは時の実施とせん、前回とも千人
医師に依つては、助午も亦日千人である。今日は
却に僕は何等、異状は無く然と苦痛は感じ
あつた、は不審思議であり、皆は心配にとんとたか
杞憂に陥つたのは勿怪の事である。

April 30th (木)

今日は終日中、猛烈な強風に、天幕は覆へら
んばかりの風、風沙塵だ、テント内には砂が舞上
り絶へかんきものがある。かゝるに九十九度の暑気
にテントは閉めきつてゐるから相違なかつた。

五月一日 (金)

規定により、舞台及び器具を運び出し、大に
晒す、監督官の検査からつた。

夜検査の結果、報告せられたが、テント周囲の
清掃手入れに満足、かんきものがあり、明日電報で